

運営推進会議開催状況報告書

事業所名（特別養護老人ホーム春日野園）（自 令和3年4月 至 令和4年3月）

第2回	開催日時	令和3年8月21日（土）	10:00 ～ 11:00
参加者		主な議題	
利用者	0名	I. 1) 春日野園活動報告 R3.6月～R3.7月 ・特養 ・ショート ・デイ ・居宅 II. 新型コロナウイルスについて III. 災害について IV. 外国人技能実習生について	
利用者家族	1名		
事業者	6名		
地域住民代表等	0名		
（春日野町内会）	1名		
（山本社協）	1名		
（春日野社協）	1名		
（地域包括）	1名		
その他（信々会監事）	1名		
主な要望・助言等			対応状況
I. 春日野園活動報告		1) 新任の職員紹介 施設長：柏 明宏 マネージャー：風早 由紀子 2) 特別養護老人ホーム 入居者数：80名 申し込み者数：184 【WEBによる外部講師による体操の開催】 ・ガンバルーン体操 ・ケアピクス ・チェアヨガ 【ちょっと豪華ランチ】 ・コロナ禍で外出もできず、こもりがちな生活が多い入居者様に少しでも元気になって頂きたいという思いで月に1度、普段より豪華な食事の提供。 【行事レク】 密にならないよう感染対策を行いながらユニットで開催。 【ユニットレク】 施設行事以外にもユニットごとにレクリエーションの開催をご入居者のニーズに沿って実施。 【ワクチン接種について】 1回目は6月11日・18日、2回目は7月2日・9日と接種済。 【栄養士の実習生の受入れについて】	

7月5日～7月9日の5日間広島文化学園短期大学から栄養士の実習生の受入れを実施。

【喀痰吸引・注入（胃ろう）の現地研修について】

医療的ケアの実施体制を行う為、喀痰吸引・胃ろう（注入）の研修を現地中。

【その他】

あん摩マッサージ師によるマッサージの実施。

内部研修を1回／1ヵ月開催。

3) ショートステイ

稼働率：88.5%

登録者：87名

問い合わせ：23件

新型コロナウイルスの感染対策を行いながら、季節にあったレクリエーションの提供を実施している。今回の豪雨の影響で14日に5名の方の受入れを行った。また、月曜から1組の受入れ予定。（夫婦 夫要介護 妻要支援）

4) デイサービス

登録者：63名

1日当たりの平均利用：19.1名

平均介護度：1.65

デイサービスでは5感プログラムの取り組みを実施中。

味覚：選択メニューや季節感を感じて頂くような調理レクを実施。

視覚：視覚で最終的に楽しめるような壁面飾りの作成。

聴覚：音や声を使ってのレクリエーションの実施。

嗅覚：においや香りに重点を置いたレクリエーション

触覚：手で触った感覚を意識できるようなレクリエーション

5) 居宅

担当ケース数：介護24名 支援1名

担当の地区別：山本5名、西原1名、川内2名、緑井2名、口田10名、落合南1名、戸坂2名、牛田1名

【困難事例の報告】

・遠縁に当たる方が介護

II. 新型コロナウイルスについて

(春日野町内会長様より)

感染については現在拡大している状況なので、春日野住民から地域交流室の使用依頼があれば控えて頂くように伝えて頂きたい。

III. 災害について

- ・老人性鬱病の方
 - ・認知症の進行でインシュリンの接種が難しい方。
 - ・詐欺被害
- 【研修報告】
- ・介護報酬改定、成年後見制度、認知症、支援困難事例、感染症、災害 等

1) 春日野園での職員同居家族の発生について

【発生状況】

令和3年8月12日職員同居家族が陽性となりホテル療養となった。対象職員については同日より自宅待機となった。

【事業所の対応】

対象ユニットのみ隔離対応を実施。職員、ご利用者の接触を中止。

【今後の対応】

17日、25日にPCR検査を実施し、陰性となれば職場復帰とし、対象ユニットの開放を実施。

1) 春日野園で災害発生時の対応について

【緊急受入れ】

- ・8月14日 5名（ショートステイにて受入れを実施）
- ・8月15日 上記受入れのうち1名の方のお部屋がない状況となり、フロア内にベットを出し、パーティションにて仕切りを作り夜間過ごして頂いた。介護保険課に報告済。以後1日1件ペースで問い合わせがあるが、利用までには至っていない。

【スタッフの避難】

- ・8月12日 1家族避難
- ・8月13日 1家族避難
- ・8月14日 スタッフ3名避難（帰宅困難・夜間の看取り対応の可能性ある為）

【スタッフの被災状況】

- ・自宅駐車場と1F玄関に土砂が押し寄せる。

(山本学区社協会長様より)

避難者は少しずつ減少している。初めて対策本部を立ち上げた為、いろいろ混乱している。今から活動を始めることも多い。

例えば、避難所の中でも、体育で使用するマットを早もの順で取り合ったり、自宅のテントを避難所に持ち込んで、結果通路がない状況になってしまった。現在はみな平等になるようにテントの使用は控えて頂いている。

避難所を開設し2日後に必要なもの分かってきた。女性スタッフ、救急箱、車椅子などが必要だった。後になって気づくことが多かった。対策本部で流れを紙に書いていたが、役に立たなかった。

実際の被害状況も把握できておらず、これから把握していく状況になっている。

避難所は小学校の協力があり、感染対策を行いながら避難できている。

ダムには土石流で土砂が溜まっているので、近隣の方は避難が続いている。もうしばらく時間はかかりそう。対策本部も4～5名では活動してるので、しんどくなっている。

今後小学校が始まった時に避難所の使用状況が不安に感じている。受け入れ施設も限りがあり、今後台風等来た場合に住民をどこに避難させて良いか困っている。経済大学にも話に行ったが良い返事はなかなかもらえない。

この度の避難者は徒歩30分圏域なので日中に自宅に帰って休んだり、お風呂に入ったりできている。

困っていることは、避難者が6名ぐらい時でも、弁当が100個も届いてしまう。弁当飲料等破棄に人手がかかってしまう。

(春日野町内会長様より)

現時点では1世帯の方が避難。

今回1番困った事は、1日目2日目の支援が行政からなかった。春日野園に関しても、コロナのことも考えて遠慮してしまった。

非難時のお風呂の問題、エアコンの環境、冷蔵

(2Fにて居住)

- ・自宅付近に土砂が押し寄せ、土砂の撤去作業をおこなった。

庫の使用等、少しでも快適に生活する環境が必要だと感じた。

今後防災協定について今後話し合いを行い、見直しを行っていききたい。

随時緊急時には連絡を取れる体制を構築していきたい。

(春日野社協会長様より)

高齢者については5丁目のかたは、3丁目の子供のところに避難していた。また、垂直非難をされている方もいた。

保育園の上など流木等がありダムがあふれそうな箇所がある。

今後、防災について協議をしていきたい。

災害時に避難される高齢者がいる場合は事前に情報共有をしていきたい(春日野から)

(地域包括様より)

包括とつながりがある方は、事前に情報をまとめていた。包括とつながりがない方については対応が難しい。また、災害発生時は、包括の方へ情報があまり連絡については入っていない。

(ご家族代表様より)

施設については立地状況件について理解していた。

次回の運営推進会議

令和3年度

第2回運営推進会議 令和3年11月20日(土)

10:00~11:00